

食器洗いを自動化しよう



～時短・生産性を向上させる工夫～

人手不足で、社員の負担が増えている。この前も、忙しさのあまり、パートが皿洗いの最中にお皿を大量に割ってしまった。

人手不足解消のための採用活動は行っているのですか。

① 怪我はなかったけど

もちろん、求人はずっと出しているよ。けど、なかなか申込みがないから、今いる人員で何とかするしかないよ。

② みんなに頑張ってもらって！

採用が難しければ、業務を効率化し、業務負担を減らすことを目指しましょう。例えば、洗い場に食器洗濯機を導入してはどうでしょうか。設備の導入には助成金も活用できますよ。

③ 助成金もあるのか

家庭にも食器洗濯機があるんですよ

助成金を活用し、食器洗濯機を導入したところ、業務が効率化され、生産性が向上した。みんなの負担も減り、ミスもなくなりました。

④ 業務が効率化され、長時間労働が解消した

取組事例紹介

※印部分：「AICHI WISH企業認定制度」「36協定上限引下げ★+設備投資★★=★★★★」に該当

業種：飲食業 従業員数：90名

新たな人材確保が難しい現状がある中、これまで従業員が行っていた業務の一部を機械化して生産性の向上を目指すこととした。また、既存の従業員が複数の業務を行えるようにマニュアル整備に取り組んだ。



- 【導入経費の一部を助成】
- 業務改善助成金
 - 助成率 最大80%
 - 上限額 最大100万円
 - 【法人税の特例（経営強化税制）】
 - 即時償却又は取得価格の最大10%の税額控除
 - 【固定資産税の特例措置】
 - 備品・設備等を新規取得した場合、固定資産税が3年間にわたり1/2に軽減
- ◆ 常時使用労働者数や生産性要件等により助成率が変化する等、助成金等には一定の要件があります。

- ・最新の食器洗濯機を導入※することにより、食器洗いに従事する従業員の一日の労働時間は2割程度削減し、食器洗いの水道高熱燃料費が10%程度削減したことから、従業員の賃金を引き上げた。
- ・食器洗いのマニュアルを作成することにより、誰でも洗い場業務を行え、多能工化に成功した。
- ・従業員の業務負担が減り、残業時間が短縮されたことから、36協定の上限を見直した※。

御社の働き方改革を「働き方改革推進支援センター」は応援します！

そのほかの事例紹介、働き方改革の活用方法等については、「愛知県働き方改革推進支援センター（平成30年度実施機関：愛知県社会保険労務士会）」で相談を受け付けています。

■ 本部：名古屋市熱田区三本松町3-1

☎0120-868604

✉ hatarakikata@aichi-sr.com

■ 豊橋出張所：豊橋市花田町字石塚42-1（豊橋商工会議所内）

☎0800-200-5262

✉ hatarakikatatoyo@aichi-sr.com